



# 議会 ニュース



地方こそ可能性あり  
—第55回県市議会議員研修会より—

8月8日、岡山県内の市議会議員が一堂に会する「第55回岡山県市議会議員研修会」が井原市で開催され、(株)日本総合研究所主席研究員の藻谷浩介氏から「人口減少社会における新たな地域の可能性」と題した講演を伺いました。



岡山県市議会議員研修会

講演では「対策を考える前に、現実を正しく把握することが大切」との視点が示されました。治安について「昔の方が良かった」と思われがちですが、実際には現在の方が殺人件数は大幅に少なくなっているなど、数字で見直すことで新しい気づきが得られることが紹介されました。

また、高梁市を含む県内各地の人口動向にも触れられました。特に、中山間地域では高齢者人口がすでに減少に転じており、地方には「子どもが増える可能性」があるとの指摘もありました。

藻谷氏は「地方は人口が減っても世界的に見れば『過疎』で

はない。公共サービスや商売も十分成り立つ」と強調されました。人口減少を悲観するのではなく、地域の資源を生かした新しい暮らし方や支え合いをつくるのが未来につながるの考えです。

高梁市議会としても、こうした知見を共有し、現実を踏まえた上で政策を検討していく必要があると改めて感じました。人口減少や高齢化という課題を、市民の皆さまと共に前向きに乗り越えていけるよう、今後も学びと議論を深めてまいります。

## 総務産業委員会 管内行政視察

### 有漢工業団地

有漢工業団地の管内行政視察を行い、追加工事の必要性について説明を受けました。第一期に立地した興和紡(株)の施設も併せて見学し、地域産業への貢献と今後の高梁市発展への



有漢工業団地

の大きな期待を実感しました。

### 落合雨水ポンプ場

落合町阿部地区に建設中の「落合雨水ポンプ場」について管内行政視察を行いました。



落合雨水ポンプ場

このポンプ場は、平成30年7月豪雨と同規模の降雨にも対

応できる設計となっており、今後の浸水被害を大きく軽減する効果が期待されています。現在工事が進められており、令和8年から本格的に稼働を開始する予定です。

## 備中たかはし松山踊りに 市議会連で参加しました

8月15日、県下三大踊りの一つである「備中たかはし松山踊り」団体連踊り競演会に市議会連として参加しました。この日も35度を超える猛暑日でしたが、皆で楽しく踊ることができ、参加賞もいただきました。



## 高梁国際ホテル検討協議会

高梁国際ホテルの諸課題は、議会だより第63号の特集「どうなる高梁国際ホテル」に詳しく取り上げています。高梁国際ホテルは、平成9年8月に民間資本で開業しましたが、事業者の撤退により平成13年には建物を市有化し(株)高梁国際ホテルとの賃貸借契約に基づき順調に運営してきました。しかし、新型コロナウイルス感染症の蔓延以降は利用者が大きく減少し現在に至っており、加えて、建設から28年経過し、施設の老朽化も進むなどして諸課題を抱えています。

5月の全員協議会での報告では、令和4年に(株)高梁国際ホテルから経営計画書とアクションプランが提出され、これらに基づいて市は(株)高梁国際ホテルと今後の在り方についての協議を進めていました。しかし、経営陣と市との間で認識の相違があり、協議は平行線を辿っているとのことでした。

(株)高梁国際ホテルの経営形態の変更は、当時の議会の判断でもあり、また建物は市有財産でもあることから、議会としても調査検討が必要と考え、3期以上の議員を主体とした高梁国際ホテル検討協議会を任意で6月26日に設置しました。調査は、主として市と(株)高梁国際ホテルとの認識の相違について、双方から聞き取りを行うとともに、開業当時の高梁市関係者からも意見聴取をする中で、ホテル運営上の新たな課題が明らかになるなど解決の糸口は見出せませんでした。

現在まで高梁国際ホテルがシティホテルとして市政振興に寄与してきたことを認識しつつ、今後この施設を維持していくのかどうかも含め、議会として真剣に考える必要があります。

